

形成外科

《概要》

【人員構成と施設資格】（平成 21 年 12 月 31 日現在）

常勤スタッフ2名（中川達裕：日本形成外科学会認定専門医、那須賢花）。

日本形成外科学会認定教育関連施設。

【主な診療内容と特色】

○皮膚良性腫瘍、母斑、血管腫、皮膚悪性腫瘍の外科的治療

小児の皮膚腫瘍手術は、日帰り全身麻酔手術でおこなっています。

○顔面骨骨折の観血的整復手術

吸収性プレートを用いるので、後日のプレート除去は必要ありません。

○眼瞼下垂・睫毛内反の修正手術

○レーザー治療

表在性血管腫に対するダイレーザー治療、太田母斑・異所性蒙古斑・外傷性色素沈着に対するアレクサンドライトレーザー治療、皮膚表在性病変に対する炭酸ガスレーザー治療が可能です。

○乳癌術後の乳房再建

自家組織による再建以外にも、シリコンバッグによる乳房再建が可能です。また乳癌切除と同時にエキスパンダーバッグを挿入し、不足皮膚を拡張することで整容性の高い再建が可能です。

○顔面神経麻痺の外科的治療

眉毛・眼瞼・口角下垂の矯正や、神経移植による機能回復手術が可能です。

○熱傷の治療

○外傷後や手術後の癍痕、ケロイドの治療

○陥入爪・巻き爪の治療

矯正ワイヤーを用いた非観血的治療や、フェノール法による観血的治療をおこなっています。

○癌切除後再建、外傷性・難治性皮膚欠損の再建手術

頭頸部癌切除後のマイクロサージャリーによる再建手術や、その他各種癌切除後欠損・外傷後欠損の再建手術をおこなっています。

○院内活動

全入院患者の褥瘡対策を担い、褥瘡対策チームの中心として看護師・栄養指導士とともに週1回の褥瘡回診をおこなっています。

《実績》

手術患者数統計（2009.1.1～12.31）

【日本形成外科学会・学会区分による統計】

熱傷	8
顔面骨骨折・顔面軟部組織損傷	27
手足の先天異常・外傷	11
その他の先天異常	10
母斑・良性腫瘍・血管腫	265
悪性腫瘍およびそれに関連する再建	69
癒痕、癒痕拘縮、ケロイド	13
褥瘡、難治性潰瘍	24
その他（レーザー含む）	160
手術数総合計	587

《業績》

（1）学会研究会報告（2009.4～2010.3）

番号整理	演 題	発 表 者	学会・研究会名	年 月 日
1	両側 partial deepithelised 大胸筋皮弁による冠動脈バイパス術後の縦隔炎・胸骨骨髓炎の治療	中川達裕 那須賢花	第 52 回日本形成外科学会総会・学術集会	2009. 4. 22-4. 24
2	下眼瞼切開アプローチにて摘出し得た眼窩内腫瘍の1例	那須賢花 中川達裕	第 93 回日本形成外科学会関西支部学術集会	2009. 12. 5

（2）学術講演（2009.4～2010.3）

番号整理	演 題	発 表 者	発表場所及び対象	年 月 日
1	市立泉佐野病院で出来る乳房再建	中川達裕	乳がん患者会すみれ会	2009. 12. 12

（3）院内研究活動（2009.4～2010.3）

番号整理	演 題	発 表 者	年 月 日
1	救急外来における顔面骨骨折の診断	中川達裕	2009. 11. 26